

2015年3月期 第2四半期決算説明資料

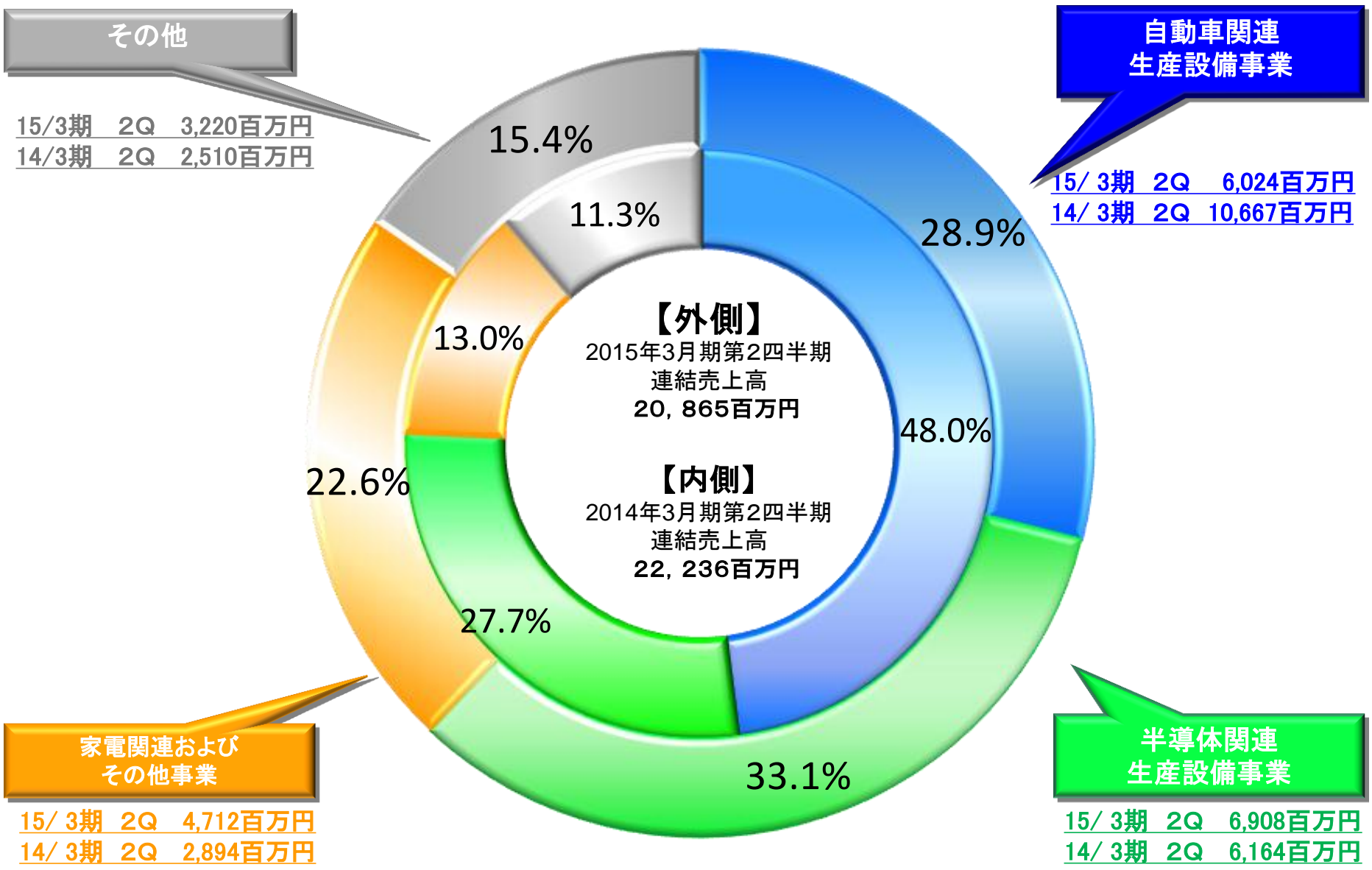
平田機工株式会社 2014.11.27



I 決算状況

2015年3月期第2四半期（2014年9月30日）

I 決算状況 事業部門別売上高構成比



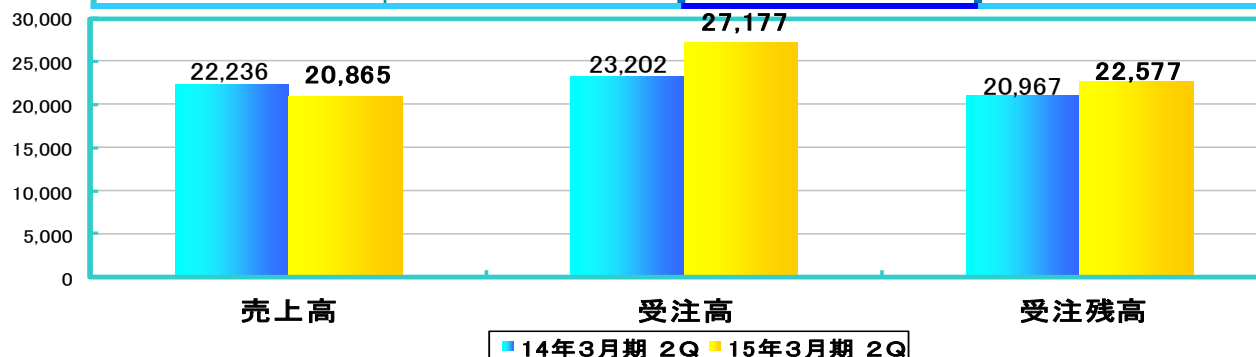
決算概要

- 半導体関連、家電関連その他は増収だったが自動車関連の減収により前年同期比6.2%の減収。
- 営業利益、経常利益は、前年同期をやや上回ったが、関係会社の増益による法人税の増加により四半期純利益は減益となった。
- 受注高は17.1%の増加、受注残高は7.7%の増加となった。

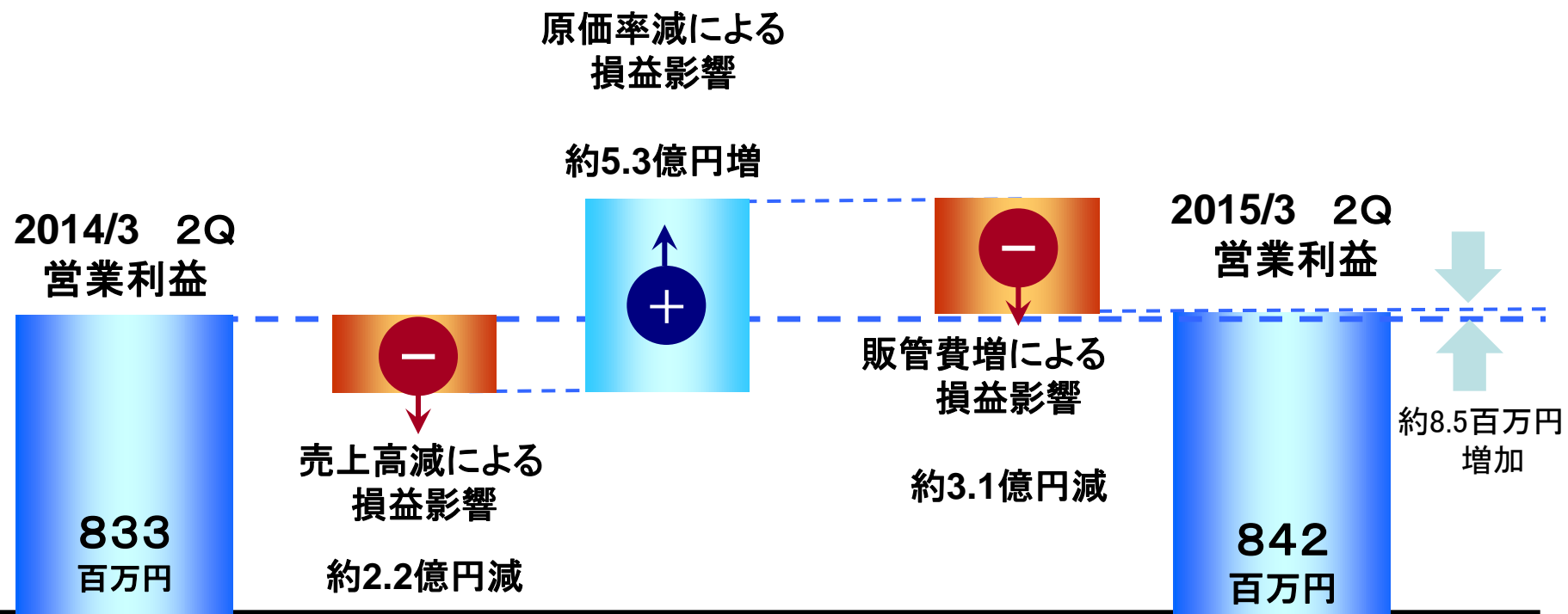
連結決算

(単位:百万円)

連結決算	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	対前年同期比 増減率
売上高	22,236	20,865	△6.2%
営業利益	833	842	+1.0%
経常利益	776	818	+5.3%
四半期純利益	502	452	△9.9%
受注高	23,202	27,177	+17.1%
受注残高	20,967	22,577	+7.7%



I 決算状況 営業利益の増減要因分析



I 決算状況 貸借対照表

■ 貸借対照表

(単位:百万円)

	2014年3月期	2015年3月期 2Q	増減
流動資産	38,408	37,403	△1,004
有形固定資産	15,817	15,748	△69
無形固定資産	412	399	△13
投資その他資産	3,713	3,467	△245
固定資産	19,943	19,615	△328
流動負債	26,952	24,381	△2,571
固定負債	12,204	12,848	+643
純資産	19,194	19,789	+594
総資産	58,352	57,018	△1,333
自己資本比率	32.5%	34.3%	+1.8point

主な増減科目

資産

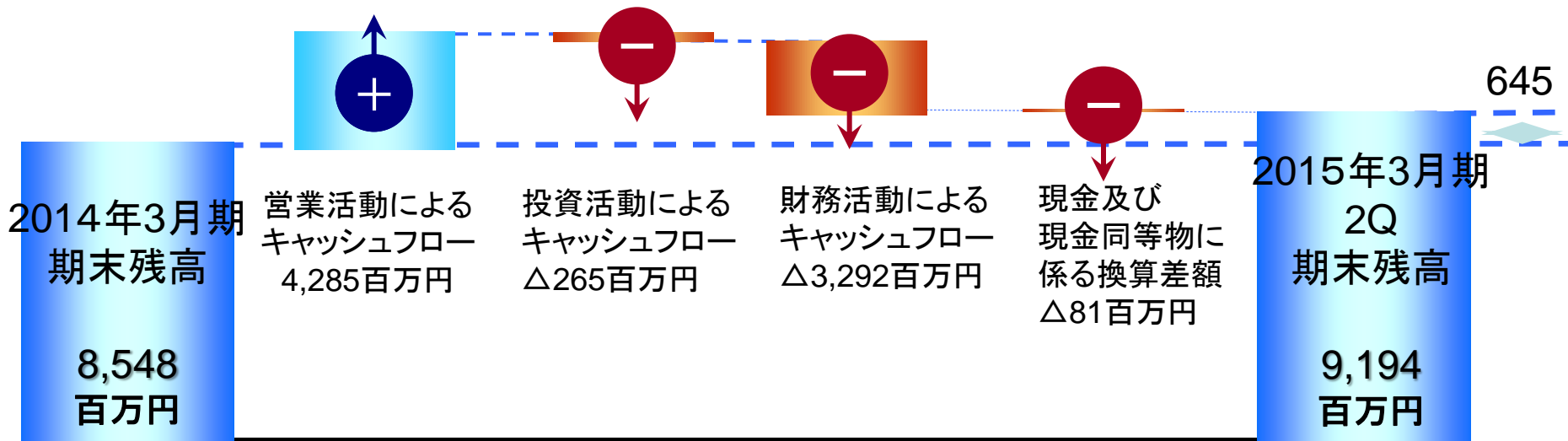
受取手形及び売掛金	△3,286
仕掛品	+1,465
現金及び預金	+644

負債・純資産

短期借入金	△2,984
1年内返済予定の長期借入金	△1,590
前受金	+1,522

I 決算状況 キャッシュフロー／想定為替レート

■ キャッシュフロー



■ 想定為替レート

	2013年4月1日～ 2013年11月30日	2013年12月1日～ 2014年9月30日	2014年10月1日～
1US ドル	95円	100円	106円

I 決算状況 事業部門別連結売上高

■ 半導体関連、家電関連その他は増収となったが自動車関連の減収により全体では減収。

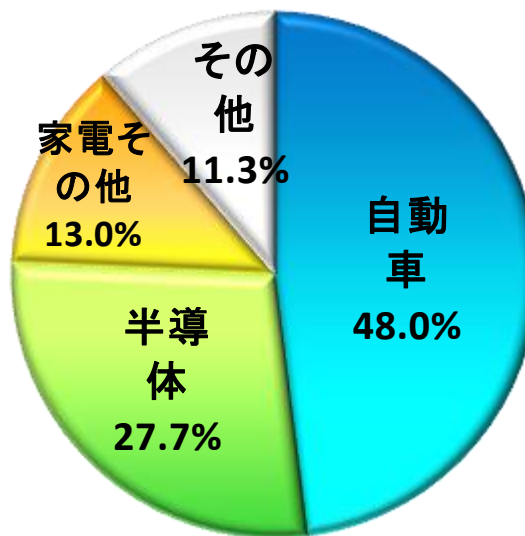
- ・ 自動車関連設備：前年同期に比較し、大型案件の売上げが少なく大幅減収。
- ・ 半導体関連設備：製造受託案件及び国内外のデバイスメーカー、装置メーカーへの売上げ増により増収。
- ・ 家電関連およびその他：掃除機の大型案件設備の売上げ増加等により大幅増収。

事業部門別売上高の状況

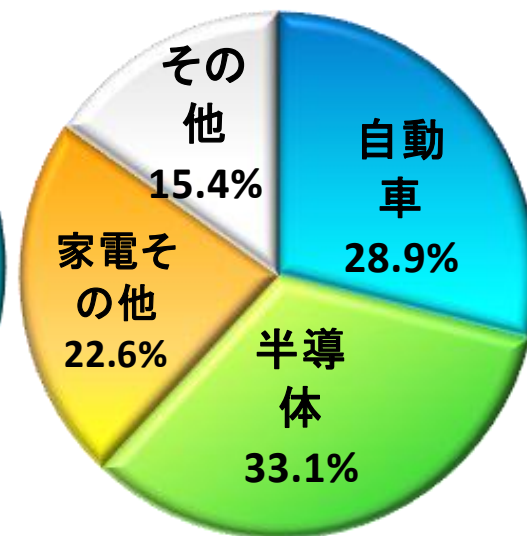
単位：百万円

事業部門	2014/3 2Q	2015/3 2Q	前期比 増減率
自動車	10,667	6,024	△43.5%
半導体	6,164	6,908	+12.1%
家電関連 その他	2,894	4,712	+62.8%
その他	2,510	3,220	+28.3%
合計	22,236	20,865	△6.2%

2014/3 2Q



2015/3 2Q



■ 半導体関連が減少したものの、特に家電関連その他の増加により全体では増加。

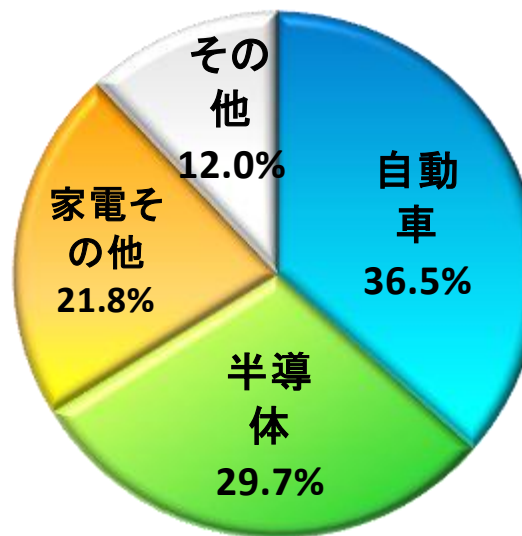
- ・ 自動車関連設備：北米、中国メーカーに加え、国内メーカーからの受注も増え、増加。
- ・ 半導体関連設備：製造受託案件の受注は増えたが、他に大型案件が少なく減少。
- ・ 家電関連およびその他：掃除機、タイヤ関連の大型案件受注により大幅増加。

事業部門別受注高の状況

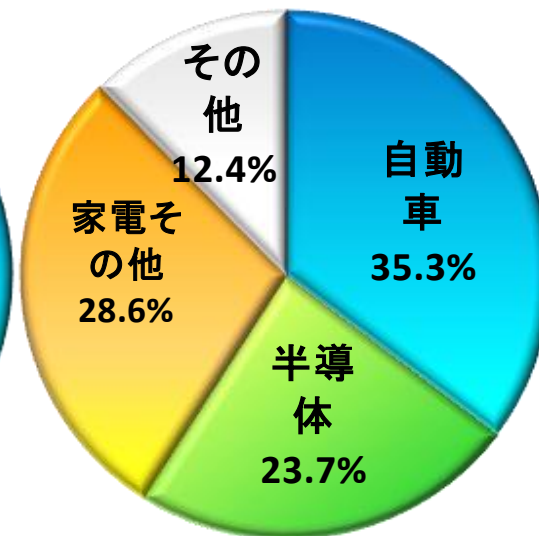
単位：百万円

事業部門	2014/3 2Q	2015/3 2Q	前期比 増減率
自動車	8,470	9,609	+13.5%
半導体	6,878	6,441	△6.4%
家電関連 その他	5,058	7,763	+53.5%
その他	2,794	3,363	+20.3%
合計	23,202	27,177	+17.1%

2014/3 2Q



2015/3 2Q



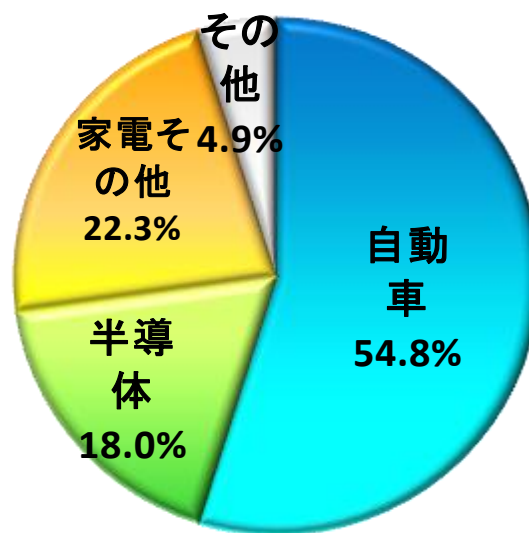
- 特に家電関連その他が、掃除機、タイヤ等の大型案件受注により大幅増となり全体で増加。

事業部門別受注残高の状況

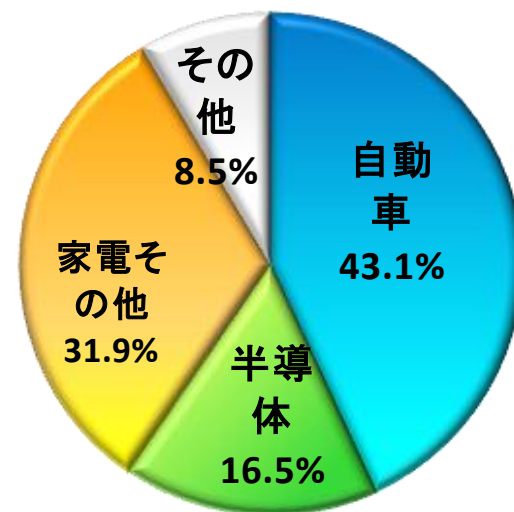
単位：百万円

事業部門	2014/3 2Q	2015/3 2Q	前期比 増減率
自動車	11,485	9,728	△15.3%
半導体	3,777	3,718	△1.5%
家電関連 その他	4,681	7,212	+54.1%
その他	1,023	1,916	+87.3%
合計	20,967	22,577	+7.7%

2014/3 2Q

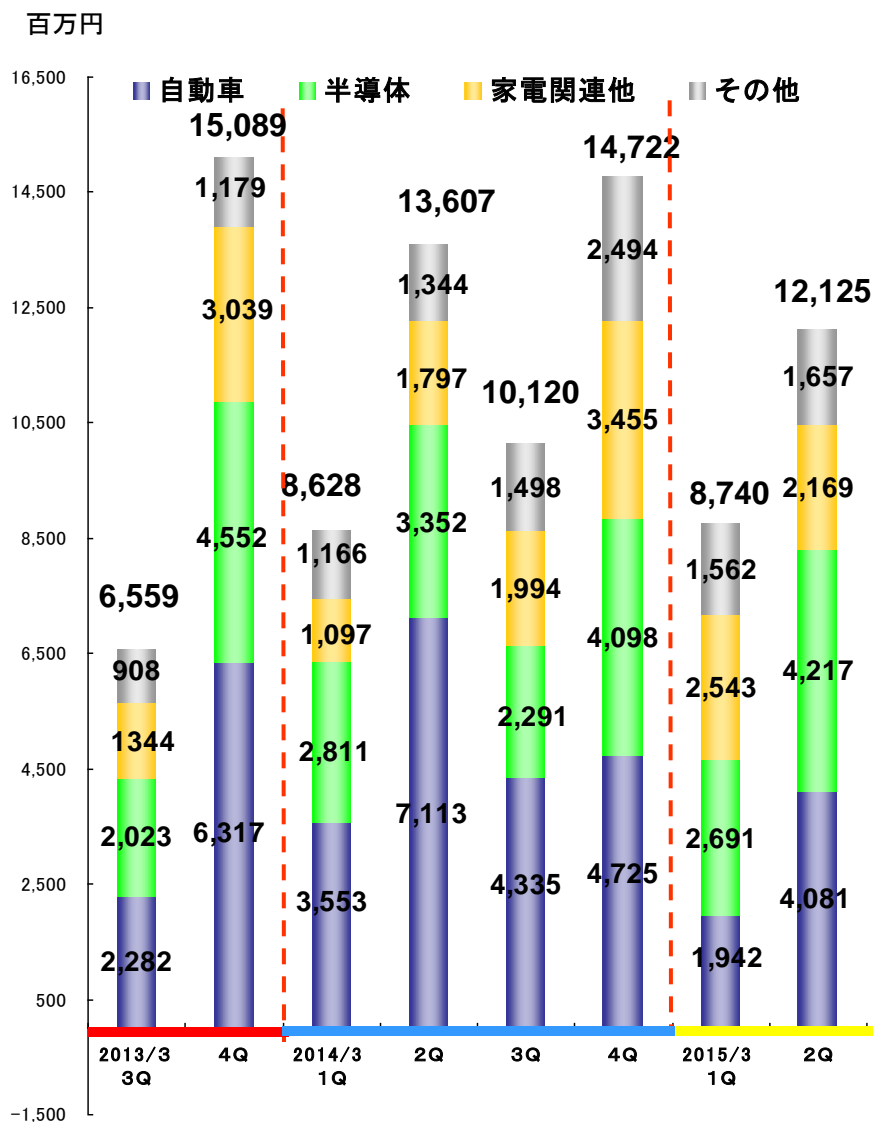


2015/3 2Q

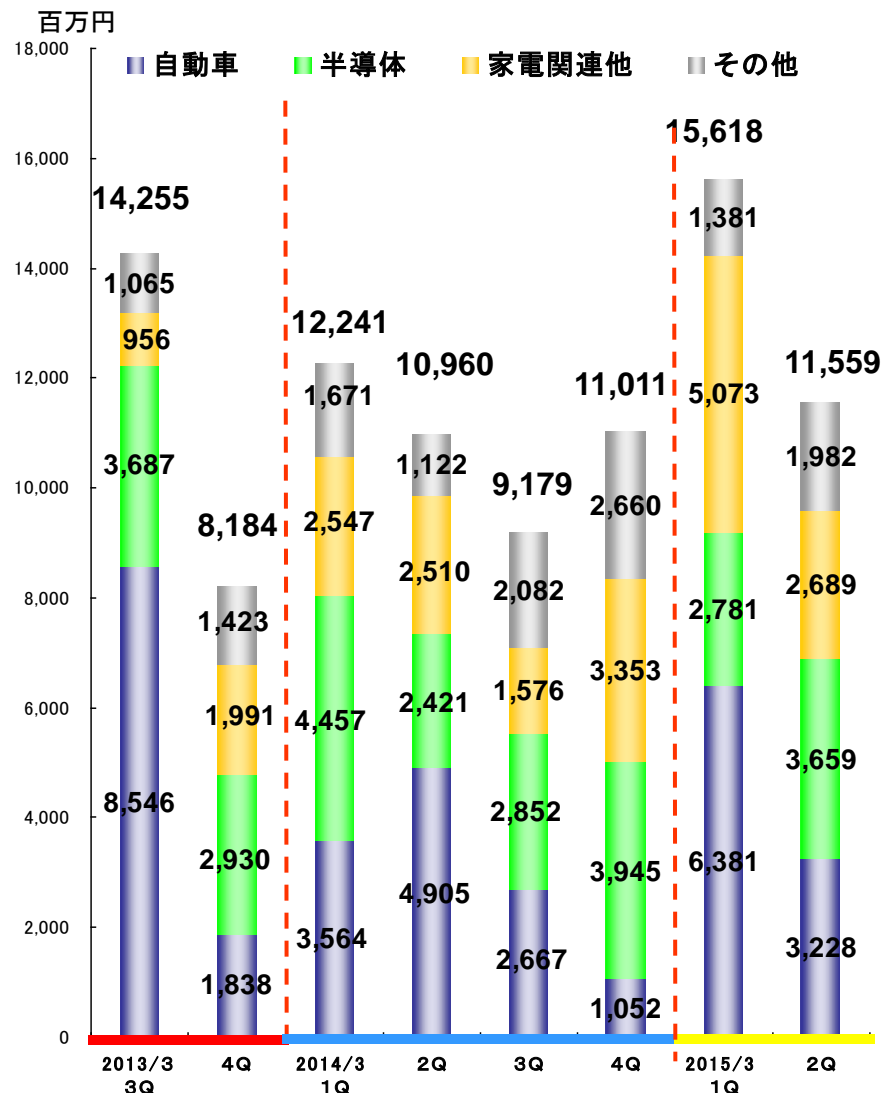


I 決算状況 事業部門別四半期売上高の推移／事業部別四半期受注高の推移

事業部門別四半期売上高の推移

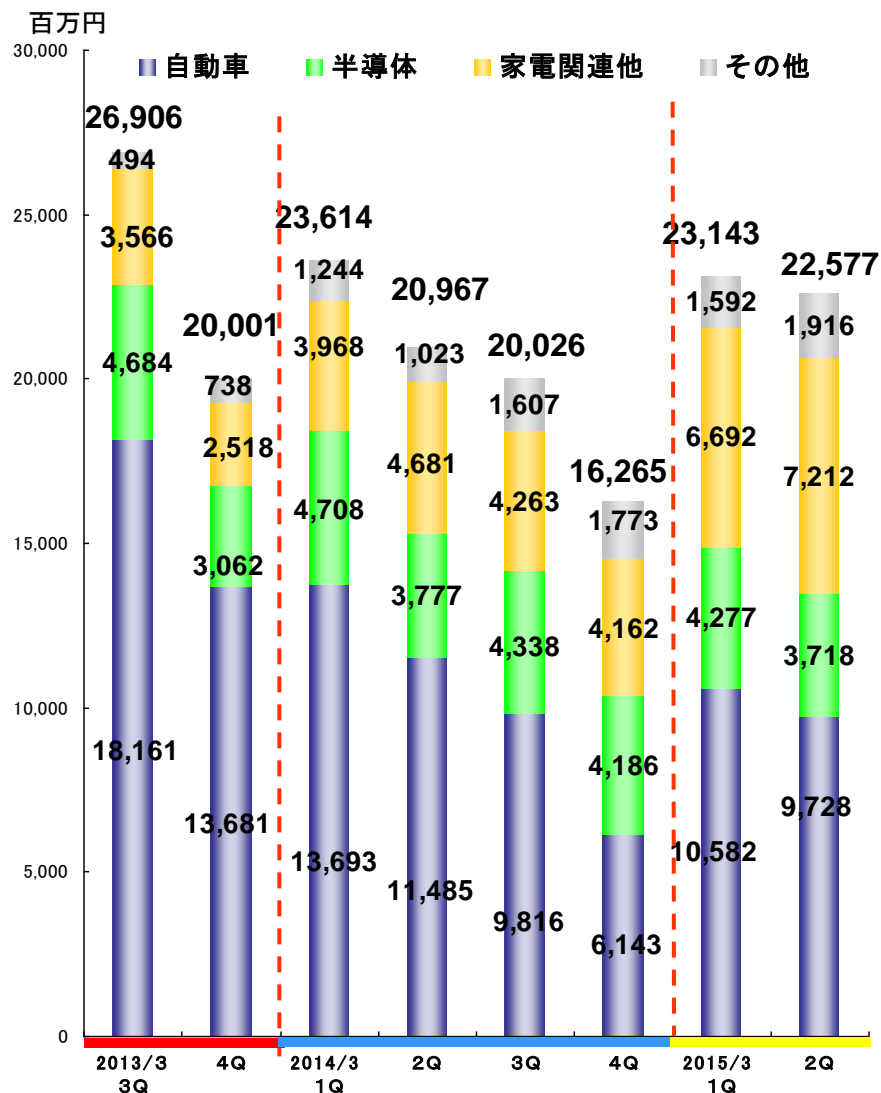


事業部門別四半期受注高の推移



I 決算状況 事業部門別四半期受注残高の推移

事業部門別四半期受注残高の推移



I 決算状況 海外現地法人の状況



	日本		アジア		北米		欧州		合計	
	14/3 2Q	15/3 2Q	14/3 2Q	15/3 2Q	14/3 2Q	15/3 2Q	14/3 2Q	15/3 2Q	14/3 2Q	15/3 2Q
売上高	19,014	16,389	2,095	3,329	986	985	139	161	22,236	20,865
営業利益	516	525	410	133	22	149	△18	△10	930	798

有機EL関連の製造・販売等を行う子会社KOYAを設立

当社は、8月7日に有機EL関連製品の製造・販売および研究受託などを行う株式会社KOYA(コウヤ)を、熊本県合志市に設立しました。

資本金は5,000万円で当社の全額出資による100%子会社であり、代表取締役社長は当社代表取締役社長 平田雄一郎が兼務します。

工場は3階建てで延べ床面積は1,495平方メートル。
従業員は5人でスタートしています。
有機ELの基盤からパネルまでを一貫して生産可能です。

商号	株式会社KOYA
代表者	代表取締役社長 平田 雄一郎
所在地	熊本県合志市福原1番地36
事業内容	① 各種電子デバイスの製造販売 ② 各種製造設備の製造販売 ③ 前各号に関する研究開発、コンサルティング、その他各種サービスの提供 ④ 前各号に付随関連する一切の業務
資本金	50百万円
設立年月日	平成26年8月7日
決算期	3月31日
出資比率	当社100%



サクラファインテックジャパンとの連名で日本機械工業連合会会長賞を受賞

当社が医療機器メーカーのサクラファインテックジャパン株式会社より設計・製造を委託されている、病理標本作製用の全自動連続薄切装置 ティッシュ・テック スマートセクションが、経済産業省及び一般社団法人日本機械工業連合会主催の「第6回ロボット大賞」にて「日本機械工業連合会会長賞」をサクラファインテックジャパン社との連名で受賞しました。

本製品、主な機能および特長は以下のとおりです。

がんなどの病気の診断を行うため、患者から採取した組織(検体)を数ミクロン単位に正確に薄切りにし、スライドガラスに貼付します。

1. 熟練の臨床検査技師でなければ難しい正確な薄切り作業が可能。
切片の厚みを自由に設定可能。厚みのばらつきを最小限に抑えます。

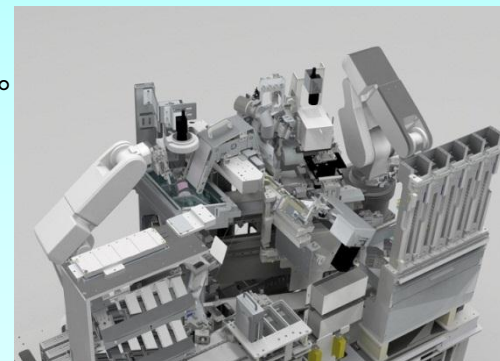
2. 検体の取り違えを防止
スライドガラスに検体の情報を印字した上、切片の画像とともに記録します。

3. 他の検体の混入を防止
発生する薄切屑を吸入し、また水槽に混入する切片を水で流すなどの処理により他の検体の混入を防止します。

上記事項を実現することにより、正確かつ高い信頼性を持つ製品として臨床検査技師の負荷の軽減など、医療分野に貢献します。



製品外観



製品内部

造船用 形状認識大型鋼板R面取りシステムの開発・販売開始

当社は、造船用の大型鋼板の形状読み取り機能が付いた自動R面取りシステムを開発し、2014年10月から造船業界に販売開始いたしました。

本製品、主な機能および特長は以下のとおりです。

1. ティーチングレス：ビジョンシステムによる鋼板の形状自動読み取り

ビジョンシステムにより、鋼板の形状および加工部を自動検知できるため、事前のCADデータの登録作業（ティーチング）などは一切不要。そのため、異なる形状の鋼板がランダムに流れてきても無人で連続加工運転ができます。

2. 完全自動化：同一方向から表裏両面のR面取り加工ができ鋼板の反転不要

ATC（オートツールチェンジャー）で加工ツールを変えるだけで同一方向から表裏両面のR面取り加工ができるため、鋼板の反転が不要です。

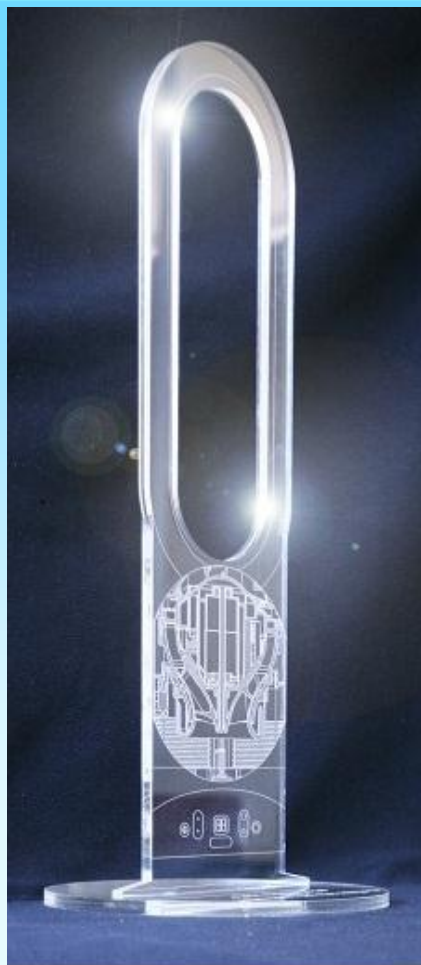
3. 工数・コスト半減：重労働からの解放

上記事項により、作業時間およびコストが削減できます。

また、作業者が粉じん、長時間の中腰姿勢、重量物取扱いの危険作業などの重労働から解放され、かつ造船業界の人手不足も補うことができます。



ダイソン社から優良サプライヤーとして表彰



当社は、6月11日、シンガポールにて、ダイソン社から優良サプライヤーとして表彰され、記念品を受け取りました。

ダイソン社は、2013年度からサプライヤーミーティングを開催しており、今年も、世界中のサプライヤーから同社の事業に多大な貢献をしたと認められた当社を含む4社が表彰されました。

当社は、ダイソン社から掃除機のモーター生産設備を多数受注しており、それらの設備において技術力や納期対応、品質などが高く評価され、今回の受賞に至ったものです。

受賞した4社のうち3社は、ダイソン社に掃除機などの製品の部品を納入している会社であり、生産設備を納入する会社は当社のみです。

この栄誉に甘んじることなく、お客さまの期待に応えるものづくりを研鑽してまいります。

Ⅲ 2015年3月期業績の見通し

2015年3月期第2四半期（2014年9月30日）

Ⅲ 事業環境

- ・世界経済は、中国の成長鈍化、欧州の回復足踏み等のリスクをはらみつつも、シェール革命による原油安により好景気が持続する米国に牽引され、緩やかな成長を継続する見込み。
- ・米国市場及び新興国市場を中心に自動車の販売は堅調。また、家電・タイヤも堅調を維持する見込み。

自動車関連事業

国内の自動車市場は消費税増税の影響が続き、十分な回復に至っていないが、米国市場では原油安により、ピックアップトラックやSUV(多目的スポーツ車)を中心に日米メーカーともに堅調に販売を拡大している。各メーカーの設備投資意欲も衰えていない。

半導体関連事業

国内ではスマートフォンやタブレット端末販売台数の増加を背景に、半導体装置メーカーの業績も堅調に推移。世界的にも半導体業界の回復が見込まれており、設備投資の拡大が期待できる。

家電関連およびその他

家電関連は依然、東南アジアなど新興国を中心に堅調。また、米国等の自動車市場の成長に比例してタイヤの販売も堅調。

Ⅲ 2015年3月期業績の見通し 業績予想

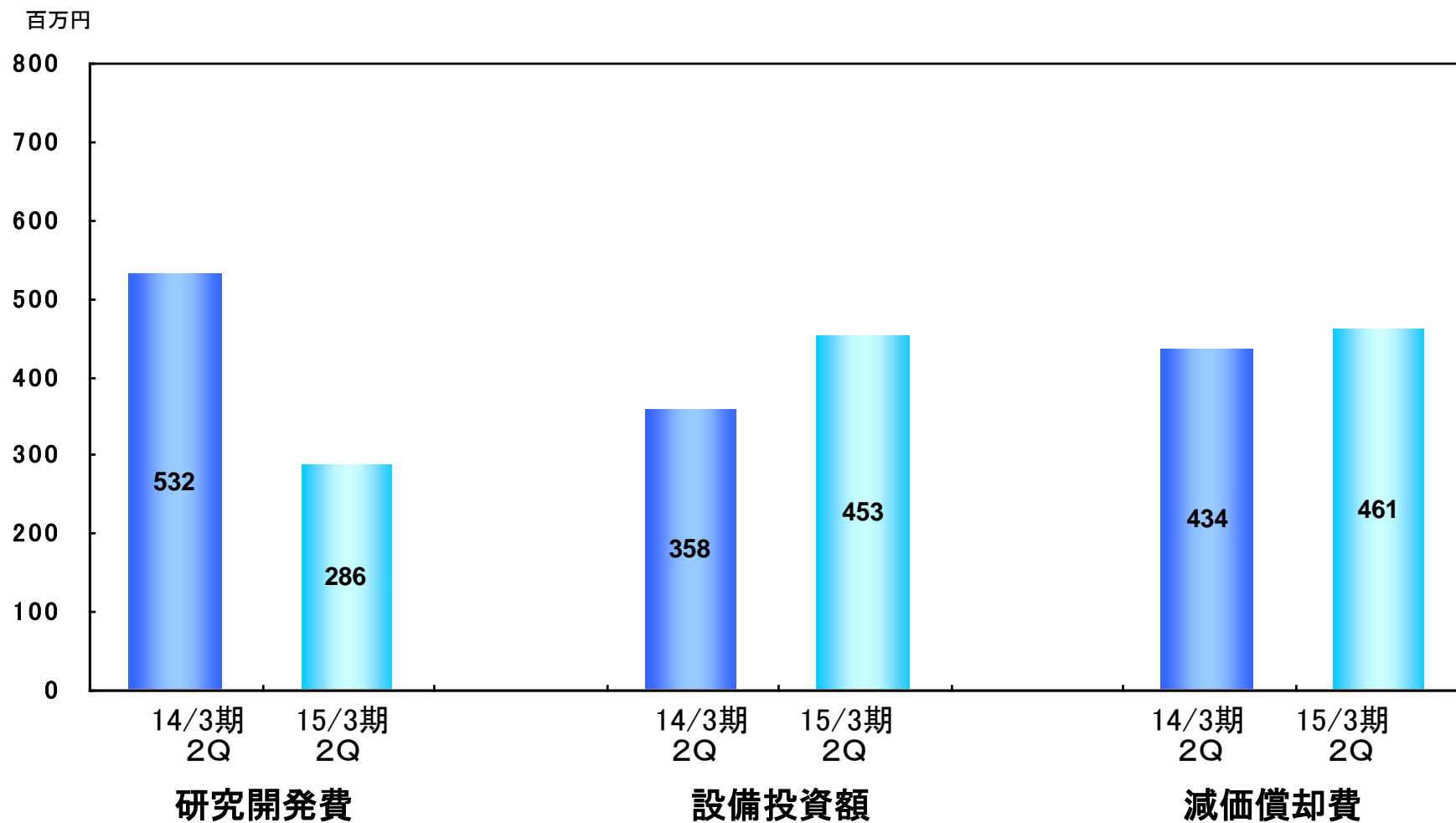
※11月7日に業績予想の修正を発表いたしました。

(単位:百万円)

	上期	下期	通期
売上高	20,865	29,134	50,000
自動車関連	6,024	8,976	15,000
半導体関連	6,908	7,091	14,000
家電関連およびその他	4,712	9,287	14,000
その他	3,220	3,780	7,000
営業利益(率)	842 (4.0%)	357 (1.2%)	1,200 (2.4%)
経常利益(率)	818 (3.9%)	281 (1.0%)	1,100 (2.2%)
当期純利益(率)	452 (2.2%)	197 (0.7%)	650 (1.3%)

IV 参考資料

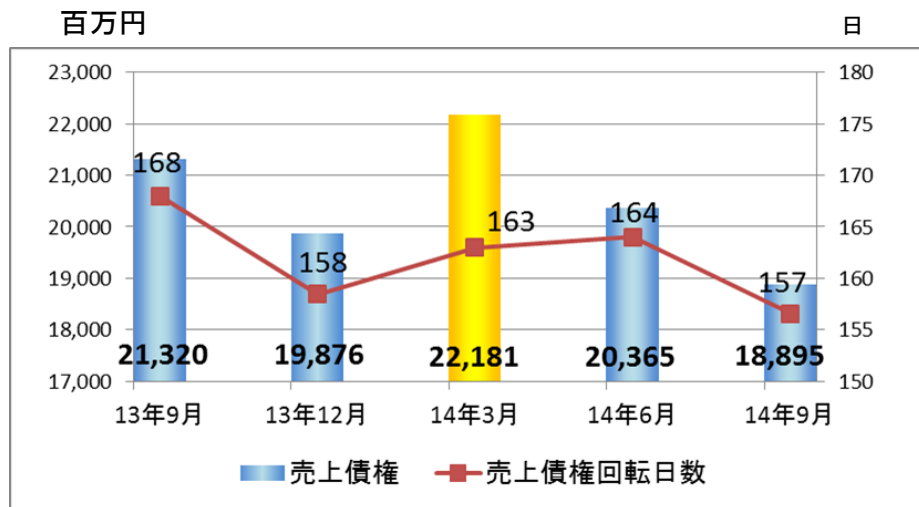
2015年3月期第2四半期（2014年9月30日）



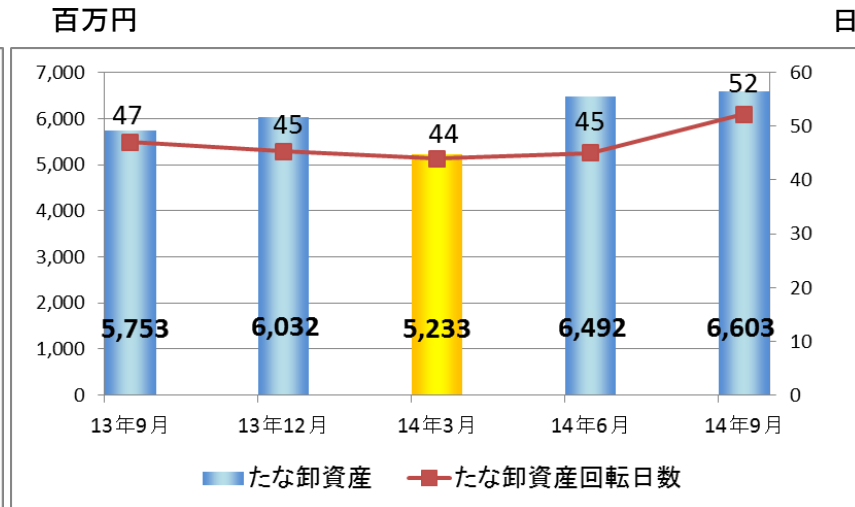
※「研究開発費」には、研究開発に準ずる費用32,372千円を含んでおります。

IV 参考資料 主要指標

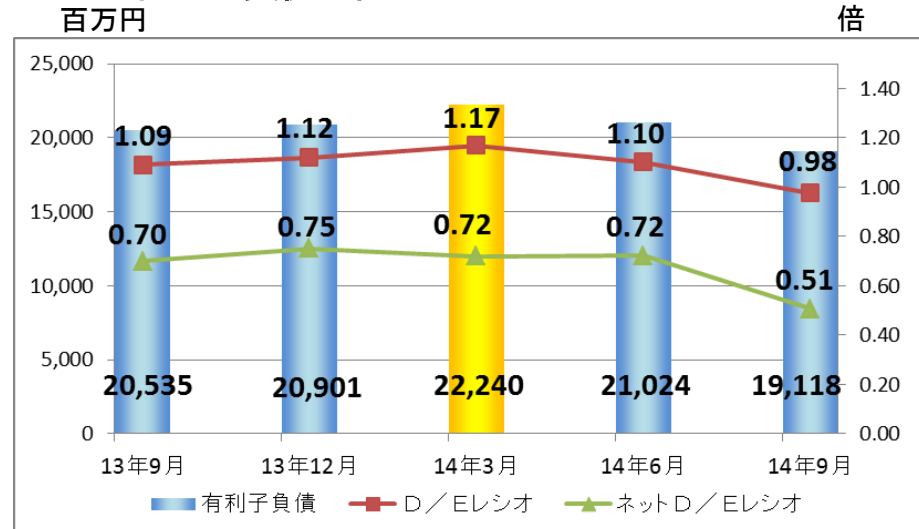
売上債権・売上債権回転日数



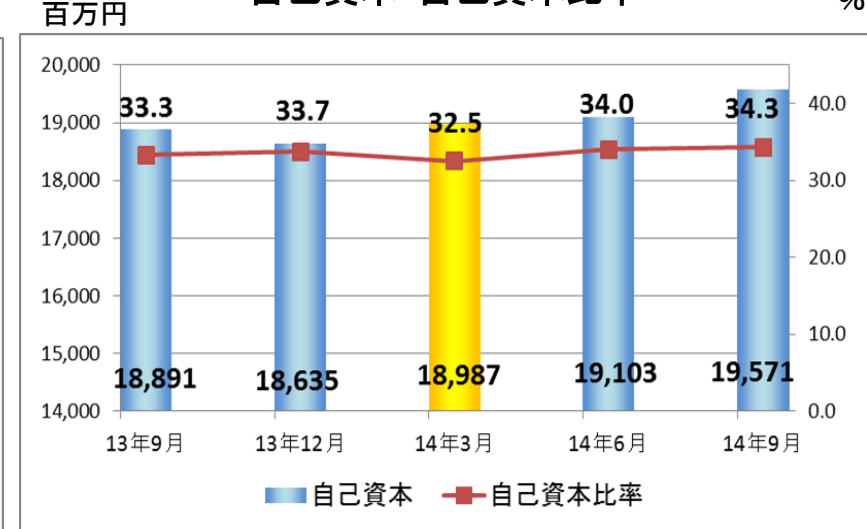
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率



【注】売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることあることをご承知おきください。